

# 蚊に刺されないようにご注意！～渡航先での感染症～

わが国では、蚊によって媒介される、デング熱、マラリア、ウエストナイル熱等の感染症に海外で感染し、帰国してから発症する事例が毎年報告されています。沖縄県でも同様の事例が、平成17～20年3月までに7件報告されています(表1)。

表1 デング熱及びマラリアの県内発生状況 (平成17～20年3月)

	疾病	診断年月	年齢	推定感染地域	(推定)感染源・感染経路
1	デング熱	平成17年10月	63	タイ・マレーシア・カンボジア	媒介動物からの感染
2		平成18年4月	28	インドネシア	蚊による感染
3		平成19年3月	78	ポリネシア	蚊による感染
4		平成19年9月	64	インドネシア	蚊からの感染の疑い
5		平成19年12月	9	フィリピン	蚊からの感染の疑い
6	マラリア	平成18年4月	43	スーダン	蚊による感染
7		平成20年3月	32	ギニア・セネガル	動物・蚊・昆虫等からの感染

これらの感染症は、原因となるウイルスや原虫などの病原体を持った蚊が、ヒトを刺すことにより感染します。また、日本以外のほぼ全世界で感染する可能性があること、ヒトヒトは感染しないこと、予防接種ワクチンと特効薬が無いため、治療も対症療法が中心となること、突然の発熱、頭痛、筋肉痛等の症状があり、重症の場合には、死に至る場合があること等の特徴を持っています。

厚生労働省はポスターを作成して蚊に刺されないよう、特に海外渡航者に対し、注意を呼びかけています(図1)。

一方、我が国では、蚊によって媒介される感染症のひとつに日本脳炎があり、毎年数名の患者が報告がされています。媒介蚊であるコガタアカイエカは、夏季に水田などで多く発生するので国内でも蚊に刺されないよう注意が必要です。

また感染症には、蚊以外にも食品、水、動物を介して感染する疾患があります。

海外渡航する際は、蚊に刺されないようにすることの他に、次の点にもご注意ください。



図1 厚生労働省検疫所作成ポスター  
<http://www.forth.go.jp/pdf/kanityuui060724.pdf>

- 1 水は必ず沸かして飲むか、ミネラルウォーター(有名ブランドのもの)を飲みましょう。
- 2 絞ったてのミルクやお手製の乳製品を口にするのはやめましょう。
- 3 川や湖、沼などの水辺には、寄生虫がみられます。淡水近くは注意しましょう。
- 4 こまめに手を洗いましょう。特にトイレ後、食事の前は重要です。
- 5 感染してもすぐに症状が現れるとは限りません。熱や下痢など具合が悪くなってきたら速やかに医療機関を受診しましょう。
- 6 むやみに動物にふれないようにしましょう。